

日本聖公会川越キリスト教会宣教 140 年記念

# パネルディスカッション

今年の聖句・宣教テーマ

「あなたがたに平和があるように」

(ヨハネによる福音書20章19節)

## 多文化共生の社会へ

2018年6月24日(日)13時～

川越キリスト教会 会館 (入場無料)

### パネリスト

ベアリ・ドゥエルさん (アメリカ)  
ヴィクトリア・鈴木さん (ガーナ)  
クリス・ブリュンガーさん (ドイツ)  
須賀景子さん (韓国)  
焦雁(しょうえん)さん (中国)  
菊池邦杏さん (日本)

現在、日本には190カ国・230万人以上の外国の人が住民として暮らし、日本人との国際結婚も増え、日本は「多民族・多文化」社会になっています。日本は、すでに難民条約や国際人権規約(社会権規約・自由権規約)、女性差別撤廃条約、子どもの権利条約、人種差別撤廃条約に加入していますが、これらの国際人権法が国内法に十分反映されていません。そのために日本で暮らす外国人の住民には、国際人権法で保障されている社会保障を受ける権利、子どもの教育への権利、自らの文化を維持・発展させる権利、地域社会に参画する権利など、多くの権利が制限されています。具体的には子どもたちの学校でのいじめ、就職差別、入居拒否、入店拒否、ヘイトスピーチなど、日常生活において外国住民に対する偏見と差別による行為が繰り返されています。

キリスト教の団体も「共に生き、共に生かし合う社会」の実現に向けて署名運動をしています。団体名は以下の通りです。

**外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ協)**

【日本カトリック司教協議会/日本キリスト教協議会/日本基督教団/在日大韓基督教会/日本聖公会/日本バプテスト連盟/日本バプテスト同盟/日本キリスト教会/日本自由メソジスト教団/日本YWCA】

署名運動にご協力をお願いします。

**主 催**

**日本聖公会 川越キリスト教会  
宣教140年記念実行委員会**